

日高市巾着田利用調整協議会 第6回協議会 会議録（要旨）

1 日時

令和6年10月21日（月）午後1時30分から午後2時30分まで

2 会場

高麗公民館 大集会室

3 出席者

日高市観光協会、一般社団法人巾着田管理事務所、巾着田サポーターズクラブ、高麗コミュニティ会議、埼玉西部漁業協同組合高麗支部、元宿区、台区、梅原区、栗坪区、久保区、株式会社 CAWAZ（実施事業者）、埼玉県飯能県土整備事務所、株式会社地域デザインラボさいたま、日高市産業振興課（事務局）

4 内容

- ①有料化実証実験について
- ②商業利用実証実験・実地視察会について
- ③その他

資料に沿って説明した。

5 主な意見

- | | |
|-----|--|
| 事業者 | BBQ の需要の低下が来場者減少の一因と考えており、決して有料化だけが来場者減少の原因ではない。
薄利多売には限界があり、高価格、高付加価値の方向以外の検討はできない。
手ぶらで行ける飯能河原と差別化ができず、競争に勝てない。上下水道の整備などの積極的な投資が必要となる。 |
| 委員 | 有料化はマナーの向上やゴミ問題の解決に寄与するため、継続するべきと考えている。付加価値を付けることで採算が取れば、地域として理解と協力をしていく必要がある。 |
| 委員 | 今年は猛暑の影響も来場者減少の一因と考えている。巾着田の魅力アップを検討するのならば、封鎖されている南側の崖崩れを直すことが一番良い。 |
| 委員 | 有料化の受付済かどうか分かりにくいと感じた。 |
| 委員 | 高価格として来場者が確保できるのか、平日の金額の検討や、実施内容を精査する必要がある。 |
| 事業者 | 2、3年の短期スパンでの検討ならば採算は合う。しかし10年スパンで見た場合は現状では難しい。競争力のある地域と戦えるように、宿泊や通年利用のための冬の商品開発等の検討は必要になる。 |

事務局	あくまで予定であるが、次年度は、部会の設置及び夏と冬の実験を行いながら検証していきたいと考えている。
事業者	現状維持の為に、コストをこれまでと同じようにかけていくだけでは、ただの負債になる。事業を行い資産としなければ、次の世代にただ負債を残すことになる。負債を資産に変えるという考えを念頭に置き、事業を検討していかなければならない。